

Doc. 3177

Evid.

Folder 21

(40)

#PS #1940 requested on the list as "Gist of Naval Directives, 1-35" is Defense #1940.

The IPS Number is 3177

IB Doc No
3177

DD
Doc. No
1940

Exhibit
3058
For Identification

大海指第一號 (要旨)

昭和十六年十一月五日

軍令部總長 永野修身

山本聯合艦隊司令長官ニ指示

- 一 聯合艦隊ハ十二月上旬米國英國及蘭國ト開戦ノ已ムナキ場合ニ備ヘ適時所要ノ部隊ヲ作戦開始前ノ準備地點ニ進出セシムベシ
- 二 右進出ニ當リテハ不慮ノ攻撃ニ對シ警戒ヲ嚴ニスベシ
- 三 米國英國及蘭國ト開戦ノ場合ノ作戦方針別冊ノ通豫定ス

大海指第二號（要旨）

昭和十六年十一月五日

軍令部總長 永野修身

古賀支那方面艦隊司令長官ニ指示

- 一 支那方面艦隊司令長官ハ十二月上旬米國、英國及蘭國ト開戦ノ已ムナキ場合ニ備ヘ諸般ノ作戦準備ヲ促進スベシ
- 二 支那方面艦隊司令長官ハ在支米國及英國軍ノ不慮ノ攻撃ニ對シ警戒ヲ嚴ニスベシ
- 三 米國、英國及蘭國ト開戦ノ場合ノ作戦方針別冊ノ通定ム

大海指第三號（要旨）

昭和十六年十一月五日

軍令部總長 永野修身

豐田吳鎮、住山佐鎮、平田橫鎮、小林舞鎮各司令長官

ニ指示

坂本鎮要、山本馬要、大熊大要、浮田旅要各司令官

- 一 各鎮守府司令長官ハ十二月上旬米國、英國及蘭國ト開戦ノ已ムナキ場合ニ備ヘ昭和十六年度帝國海軍防備計畫要領ニ依ル防備ヲ實施スベシ
- 二 各鎮守府司令長官、各要港部司令官ハ米國、英國及蘭國軍不慮ノ攻メニ對シ警戒ヲ嚴ニスルト共ニ聯合艦隊ノ警戒ニ協カスベシ

（終）

大海指第四號（要旨）

昭和十六年十一月二十日

軍令部總長 永野修身

小林大阪警備府司令長官ニ指示

一 大阪警備府司令長官ハ十二月上旬米國、英國及蘭國ト開戦ノ已ムナキ
場合ニ備ヘ昭和十六年度帝國海軍防備計畫要領ニ依ル防備ヲ實施ス
シ

二 大阪警備府司令長官ハ米國、英國及蘭國軍不慮ノ攻撃ニ對シ警戒ヲ
ニスルト共ニ聯合艦隊ノ警戒ニ協力スベシ

（終）

大海指第五號（要旨）

昭和十六年十一月二十一日

軍令部總長 永野修身

山本聯合艦隊司令長官ニ指示

一 聯合艦隊司令長官ハ日米交渉成立セバ作戰部隊ヲ即時集結歸還セシ
ベシ

ニ 大海指第五號ニ依ル武力行使ハ米英蘭國海上兵力ガ我軍艦隊ニ侵入
偵察行動ヲ執リタル場合竝ニ我領海附近ニ近接シ其ノ行動我軍艦隊ニ
ラシムルト認メタル場合或ハ領海外ニ於テ我軍艦隊ニ危険ヲ及ボスル如ク
積極的行動ヲ執リタル場合ニ限定ス

大海指第六號（要旨）

昭和十六年十一月二十一日

軍令部總長 永野修

古賀支那方面艦隊司令長官ニ指示

大海令第六號ニ依ル武力行使ハ米國、英國又ハ蘭國軍ヨリ攻撃ヲ受ル場合ニ限ルモノトス

（終）

大海指第五號（要旨）

昭和十六年十一月二十一日

軍令部總長 永野修身

山本聯合艦隊司令長官ニ指示

- 一 聯合艦隊司令長官ハ日米交渉成立セバ作戰部隊ヲ即時集結調遣セシ
ベシ
- 二 大海令第五號ニ依ル武力行使ハ米英蘭國海上兵力ガ我軍領海ニ侵入
偵察行動ヲ執リタル場合竝ニ我領海附近ニ近接シ其ノ行動我軍領海ニ
ラシムルト認メタル場合或ハ領海外ニ於テ我軍領海ニ侵入シタル如ク
積極的行動ヲ執リタル場合ニ限定ス

大海指第七號（要旨）

昭和十六年十一月二十一日

軍令部總長 永野修身

豐田吳鎮、住山佐鎮、平田橫鎮、小林舞鎮各司令長官

坂本鎮警、山本馬警、大熊大濠警、浮田旅警、小林大阪警各司令長官

一 二 指示

大海令第七號ニ依ル武力行使ハ

米國、英國又ハ蘭國艦船、航空機我領海ニ侵入シ偵察行動ヲ執リタル
場合竝ニ我領海附近ニ近接シ其ノ行動我ヲ危殆ナラシムト認メタル
合ニ限ルモノトス

大海指第八號（要旨）

昭和十六年十一月十三日

軍令部總長 永野修身

山本聯合艦隊司令長官
古賀支那方面艦隊司令長官
ニ指示

- 一 支那方面艦隊司令長官ハ海南警備府司令長官ヲシテ三亞ニ於ケル輪船集合地防備ノ爲機雷敷設ヲ實施セシムベシ
- 二 聯合艦隊司令長官ハ第三艦隊司令長官ヲシテ十一月中旬敷設機雷一魚
- 三 亞ニ派遣シ同地ノ機雷敷設ニ關シ海南警備府部隊ニ協力セシムベシ

（終）

大海指第九號（要旨）

昭和十六年十二月一日

軍令部總長 永野修身

山本聯合艦隊司令長官ニ指示

聯合艦隊ノ米國、英國及蘭國ニ對スル作戰ハ別冊對米英蘭國帝國海軍作
戰方針ニ準據スベシ

大海指第十號（要旨）

昭和十六年十二月一日

軍令部總長 永野修身

古賀支那方面艦隊司令長官ニ指示

- 一 支那方面艦隊司令長官ハ概ネ現態勢ヲ以テ支那ニ對スル作戰ヲ續行シ
ツツ左ニ依リ作戰スベシ
- (一) 陸軍ト協同シ在支米國及英國ノ艦船、陸上兵力ヲ掃蕩擊滅スルト共
ニ其ノ權益ヲ處理ス
- (二) 第二遣支艦隊ヲ基幹トスル部隊ヲ以テ開戰劈頭第二十三軍ト協同シ
テ香港ヲ攻略スルト共ニ所在敵兵力ヲ掃蕩擊滅ス
- 海陸協同作戰ノ要領ハ香港作戰ニ關スル陸海軍中央協定ニ據ル
- (三) 支那沿岸占領地域ノ防備警戒ヲ嚴ニシ敵艦船、航空機等ノ之ガ利便
ヲ阻止スルト共ニ支那沿岸ノ海上交通ヲ保護ス

(四) 第二遣支艦隊ハ馬公警備府部隊ノ協力ヲ得テ開戦後成ルベク時ニ香港、馬尼刺間竝ニ香港、新嘉坡間海底電線ヲ香港附近ニ於テ切斷ス

(五) 陸軍ノ海上輸送護衛及集合點ノ防備等ニ關シ所要ニ應ジ聯合艦隊及南方軍ノ作戦ニ協力ス

- 二 通商保護ニ關シテハ「昭和十六年度戦時通商保護計畫要領」ニ據ル
- 三 通信ニ關シテハ「昭和十六年度帝國海軍戦時通信計畫要領」ニ據ル
- 四 宣傳、謀略ニ關シテハ別ニ指示ス

大海指第十一號 (要旨)

昭和十六年十二月一日

軍令部總長 永野修身

豊田吳鎮、谷本佐鎮、平田横鎮、小林舞鎮、坂本鎮警各司令長官

山本馬警、大熊大湊警、浮田旅警、小林大坂警各司令長官

一 二指示

一 馬公警備府司令長官ハ香港附近海底電線ノ切斷ニ關シ第二遣支艦隊ニ協力スベシ

二 通商保護ニ關シテハ「昭和十六年度戰時通商保護計畫要領」ニ據ル

三 通信ニ關シテハ「昭和十六年度帝國海軍戰時通信計畫要領」ニ據ル

四 使用時ヲ中央標準時トス

(終)

大海指第十二號（要旨）

昭和十六年十一月二十一日

軍令部總長 永野修身

豊田吳鎮、山本馬齋、大熊大湊警各司令長官ニ指示

吳鎮守府司令長官ハ吳海軍航空隊戦闘機隊ヲ大湊警備府司令長官ハ大湊海軍航空隊戦闘機隊ヲ十二月三日以降一時作戦ニ關シ馬公警備府司令長官ノ指揮下ニ入ラシムベシ

（終）

大海指第十三號 (要旨)

昭和十六年十一月二十六日

軍令部總長 永野修身

豊田吳鎮、山本馬警各司令長官ニ指示

一 左ノ方面ノ普通機雷敷設ヲ實施スベシ

豊後水道

澎湖列島附近

ニ前項ニ伴フ機密保持並ニ陸軍輸送船及一般船舶ニ對スル危險防止ニ對シテハ特ニ留意スベシ

(終)

大海指第十四號（要旨）

昭和十六年十一月二十五日

軍令部總長 永野修身

山本聯合艦隊、豐田吳鎮、平田橋鎮、
小林舞鎮、谷本佐鎮各司令長官

二指示

設營班、防衛班、特設軍需部、特設航空廠及特設燃料廠ノ輸送ニ從事ス
ベキ運送船ヲ其ノ内地出港以後内地歸着迄ノ期間輸送任務ニ關シ聯合艦
隊司令長官ノ指揮下ニ入ル

（終）

大海指第十五號（要旨）

昭和十六年十一月三十日

軍令部總長 永野修身

山本聯合艦隊司令長官ニ指示

米國、英國及蘭國ト開戦シタル場合ノ海上交通破壊作戦ハ當分ノ間別冊
方針ニ準據シ實施スベシ

（終）

大海指第十六號（要旨）

昭和十六年十一月三十日

軍令部總長 永野修身

古賀支那方面艦隊司令長官ニ指示

米國、英國及蘭國ト開戦シタル場合ノ通商破壊作戦ハ當分ノ間別冊方針ニ準據シ實施スベシ

（終）

大海指第十七號 (要旨)

昭和十六年十一月三十日

軍令部總長 永野修身

豐田吳鎮、平田橫鎮
各司令長官ニ指示
小林舞鎮、谷本佐鎮

米國、英國及蘭國ト開戦シタル場合ニ於ケル敵國竝ニ中立國船舶ノ處
ハ當分ノ間別冊方針ニ準據シ實施スベシ

(終)

大海指第十六號（要旨）

昭和十六年十一月三十日

軍令部總長 永野修身

古賀支那方面艦隊司令長官ニ指示

米國、英國及蘭國ト開戦シタル場合ノ通商破壊作戦ハ當分ノ間別冊方針ニ準據シ實施スベシ

（終）

大海指第十八號（要旨）

昭和十六年十一月三十日

軍令部總長 永野修身

坂本鎮警、山本馬警、大熊大湊警
浮田旅警、小林大阪警各司令長官
ニ指示

米國、英國及蘭國ト開戦シタル場合ニ於ケル敵國竝ニ中立國船舶ノ處理
ハ當分ノ間別冊方針ニ準據シ實施スベシ

（終）

大海指第十九號（要旨）

昭和十六年十二月一日

第一部長 永野修身

山本聯合艦隊司令長官

古賀支那方面艦隊司令長官

ニ指示

一 聯合艦隊司令長官ハ一部ノ兵力ヲ以テ香港作戰ニ關シ支那方面艦隊ノ
作戰ニ協カスベシ

ニ 右協力艦艇ハ所要ノ期間作戰ニ關シ支那方面艦隊司令長官ノ指揮ヲ受
ケシムベシ

（終）

大海指第二十號（要旨）

昭和十六年十二月一日

軍令部總長 永野修身

山本聯合艦隊、古賀支那方面艦隊

山本馬公警備府各司令長官

ニ指示

聯合艦隊司令長官、支那方面艦隊司令長官及馬公警備府司令長官ハ米國
英國及蘭國航空機我重要作戰基地竝ニ輸送船團ニ對シ反覆偵察ヲ行フ場
合ハ之ヲ擊墜スルコトヲ得

大海指第二十一號（要旨）

昭和十六年十二月一日

軍令部總長 永野修身

山本聯合艦隊司令長官

平田橫須賀鎮守府司令長官

一ニ指示

橫須賀鎮守府司令長官ハ十二月六日以降橫須賀海軍航空隊陸上攻撃機隊ノ一部及木更津海軍航空隊陸上攻撃機隊ノ一部ヲ作戰ニ關シ一時聯合艦隊司令長官ノ指揮下ニ入ラシムベシ

（終）

大海指第二十二號（要旨）

昭和十六年十二月一日

軍令部總長 永野修身

山本聯合艦隊司令長官

古賀支那方面艦隊司令長官

ニ指示

對米、英、蘭戰爭ニ伴フ宣傳謀略ハ別冊第一竝ニ別冊第二ニ準據シ之ヲ
實施スベシ

（終）

大海指第二十三號 (要旨)

昭和十六年十二月一日

軍令部總長 永野修身

豐田吳鎮、小林舞鎮
坂本鎮警、小林大阪警
各司令長官ニ指示

下關海峽方面及紀伊水道方面ノ機雷敷設ニ關シ敷設艇巨濟ヲ吳鎮守府司令長官ノ敷設艇成生ヲ大阪警備府司令長官ノ指揮下ニ入ル

(終)

大海指第二十四號（要旨）

昭和十六年十二月二日

軍令部總長 永野修身

高橋第三艦隊司令長官
谷本佐世保鎮守府司令長官 一ニ指示

ル 燕及鷗ヲ十二月三日以降一時作戰ニ關シ第三艦隊司令長官ノ指揮下ニ入

（終）

大海指第二十五號（要旨）

昭和十六年十二月三日

軍令部總長 永野修身

山本聯合艦隊司令長官ニ指示

Ⅰ 先遣部隊ノ作戰要領ニ關シ左ノ如ク協定セリ
Ⅱ 先遣部隊ノ作戰要領ハ甲案ニ依ル但シ敵情其ノ他ノ情況ニ應ジ乙案又
ハ臨機ノ處置ヲ執ルヲ要スル場合ハ現地陸海軍指揮官間ニ於テ協議決定
ノ上實行スルコトヲ得

（終）

礼部書

一 私去開通教は既に後多し、才二後多与文書課長ノ
 職ニアリニ後ノ文書係員に任心ニ在る

二 太平洋戦争中、一、大東協協の事、又本官協部別及中に
 係及し、二、昭和二十年(一九四五)五、二五、夜事、五、三
 六、本官に在る、中の事、中の空襲の際、協長ニ在る

三、南洋軍の部、一、部、に在る、大東協協、事、を、事、代、り、に、使、用
 し、現に資料、現、部、史、資料、に、係、長、使、用、し、に、在、る、件、

この事、中、昭和二十年(一九四五)の、部、即、ち、大東協協、事、

より、大東協協、事、三十五年(一九五〇)迄、口、前、記、我、官、の、際、協、長、に、現
 在、在、る、

口大出指了了乃云廿五号の事は以承三年（一九〇五）
十月迄今年可人却かう此等の事は先づ既知先
に此の調査——其の如何に速くも考へたる内閣府の記
憶を待たし——この事の方を白紙——

右の文は、この文に物事の子に

昭和二年四月二十七日 礼部

吉野 道敏

右の文は、この文に物事の子に

同日承付所

吉野

日本政府

大海指第二十六號（要旨）

昭和十六年十二月四日

軍令部總長 永野修身

古賀支那方面艦隊司令長官ニ指示

大海指第十號第一項ニ依ル權益ノ處理ハ支那方面艦隊ノ武力發動後支那方面艦隊司令長官所定ニ依リ現地陸軍ト協同シ機宜之ヲ開始スベシ

（終）

大海指第二十七號 (要旨)

昭和十六年十二月八日

軍令部總長 永野修身

豐田吳鎮、平田橫鎮、谷本佐鎮
山本馬警、大熊大湊警、小林大阪警
各司令長官ニ指示

一 吳鎮守府司令長官、橫須賀鎮守府司令長官、佐世保鎮守府司令長官、
大阪警備府司令長官ハ左ノ方面ニ普通機雷ヲ敷設スベシ

浦賀水道

伊勢海口

紀伊水道

下關海峽

佐世保軍港、長崎港附近

二 馬公警備府司令長官、大湊警備府司令長官必要ト認メタル場合ハ適宜
左ノ方面ニ普通機雷ヲ敷設スベシ

基 高 室 千 陸 厚
隆 雄 蘭 島 奧 岸
港 港 港 方 灣 灣
外 外 口 面 口 口

大海指第二十八號 (要旨)

昭和十六年十二月十二日

司令部 長 永野修身

山本聯合艦隊、古賀支那方面艦隊、豊田良鎮
平田横鎮、小林舞鎮、谷本佐鎮、坂本鎮警、各司令長官ニ指示
山本馬警、大熊大湊警、浮田旅警、小林大阪警

此ノ諸國船舶ハ敵國船舶ニ準ジ之ヲ取扱フベシ

巴奈馬、諾威、丁球、希臘、秋馬、ハイチ、グアテマラ、ホンジュラス、
サルバドル、ニカラグア、コスタリカ、ドミニカ

(終)

大海指第二十九號（要旨）

昭和十六年十二月十二日

軍令部總長 永野修身

山本聯合艦隊司令長官
一 指示

平田橫須賀鎮守府司令長官

聯合艦隊司令長官ノ橫須賀海軍航空隊陸上攻撃機隊ノ大部及木更津海軍航空隊陸上攻撃機隊ノ一部ニ對スル作戦ニ關スル指揮ヲ解ク

（終）

大海指第三十號 (要旨)

昭和十六年十二月十五日

軍令部總長 永野修身

豊田吳鎮守府司令長官
坂本鎮海警備府司令長官 一二指示

内海西部及豊後水道方面敵潜水艦掃蕩ニ關シ第三十二驅逐隊ヲ一時一約
二週間ノ豫定ニ吳鎮守府司令長官ノ指揮下ニ入ル

大澤指第三十號 (要旨)

昭和十六年十二月十五日

軍令部總長 永野修身

豊田吳鎮守府司令長官
坂本鎮海警備府司令長官 一 二 指示

内海西部及豊後水道方面敵潜水艦掃蕩ニ關シ第三十二驅逐隊ヲ一時一約
二週間ノ豫定ニ吳鎮守府司令長官ノ指揮下ニ入ル

(終)

大海指第三十一號（要旨）

昭和十六年十二月十九日

軍令部總長 永野修身

山本聯合陸軍司令長官ニ指示

- 一 潜水艦ノ海上交通破壊作戦實施ニ對スル無警告墜沈地域ノ制限並ニ船舶ノ中立性尊重ニ關スル制限ヲ解除ス
- 二 飛行機ノ海上交通破壊作戦實施ニ對スル制限ニ關シテモ亦前項ニ準ズ
- 三 前諸項ニ拘ラス薩聯邦船舶ナルコト即カナル場合ハ之ヲ攻撃スベカラズ又日本近海、露領沿岸及「ペルー」以南ノ南米沿岸等ニ於テハ一般中立國（船舶取扱上敵性國ト定メタル諸國ヲ除ク）船舶ニ對シテモ其ノ中立性ヲ尊重スベシ

大海指第三十二號（要旨）

昭和十六年十二月二十三日

軍令部部長 永野修身

高橋第三陸隊司令長官

谷本佐世保鎮守府司令長官 一ニ指示

燕、鷗、對、スル第三陸隊司令長官ノ指揮ヲ解ク

（終）

大海指第三十三號 (要旨)

昭和十六年十二月二十五日

軍令部總長 永野修身

豐田吳鎮守府司令長官
山本馬公警備府司令長官
ニ指示

馬公警備府司令長官ノ吳海軍航空隊戰鬥機隊ニ對スル作戰ニ關スル指揮ヲ解ク

(終)

大海指第三十四號 (要旨)

昭和十六年十二月二十六日

軍令部總長 永野修身

山本聯合艦隊司令長官ニ指示

臺灣方面所在ノ南方部隊航空部隊ノ一部兵力ヲ以テ適宜南支方面敵航空
兵力、基地ヲ攻撃制壓スベシ

(終)

大海指第三十五號（要旨）

昭和十六年十二月三十一日

軍令部長 永野修身

豐田吳鎮守府司令長官
坂本鎮海警備府司令長官
一 二 指示

第三十二號 逐隊及巨濟ニ對スル吳鎮守府司令長官ノ指揮ヲ解ク

Doc. 3177

Evid

Folder 22

(24)

INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

DEFENSE DOCUMENT SERIES A

ANALYSIS No. 32

8 Oct 1947

DEF Doc. No. None

Ct Exh No. 3058 (page 8)

(Excerpt of Doc. page 8, Def Doc No. 1940)

ANALYSIS OF DOCUMENTARY EVIDENCE

DESCRIPTION OF DOCUMENT

Title and Nature: Bound File of Loose Sheets, Gist of Naval General Directives (TAI KAIS II) Nos. 1-35; (No title page to file)

Date: 1941

Language: Japanese

Original processed in full? () Excerpts only (x)

PERSONS IMPLICATED: Admiral YAMAMOTO; Admiral NAGANO, Osami; KOGA (Comdr of Fleet in Chinese Waters) and Chiefs of Naval Stations and Fortresses

INCIDENT, PHASE or CRIMES TO WHICH DOCUMENT APPLICABLE: Class B Offences -- at Sea; Preparations for War -- Naval

SUMMARY OF RELEVANT POINTS

Document contains Naval General Directives for latter half of 1941 and includes Directives numbered 1 to 35.

Excerpts from document (made IPS Doc. No. 3177 for identification purposes) analyzed include only the most important directives which are summarized below. Directive No. 31 (Excerpt IPS Doc. No. 3177-A) is significant in that restrictions regarding neutrality of ships and areas of non-notice sinking are ordered removed as early as 19 Dec 1941. Other directives concern naval actions to be taken in warfare against AMERICA, ENGLAND and the NETHERLANDS in the "first ten days of December" as early as beginning of November 1941.

Directive 1 - 5 Nov 41 - To: Adm YAMAMOTO, Comdr of the Combined Fleet
From: Adm NAGANO, Chief of the Naval
General Staff

"In preparation against the circumstance when we are driven to open warfare against America, England and Netherlands, in the first ten days of December, advance, at a proper time, the necessary units to the preparation points before the start of operation."

Analysis No. 32

Page 1

Analysis No. 32 - Page 2 - SUMMARY Cont'd

(A similar directive is given to KOGA, Cmdr of the Fleet in Chinese waters and to commanders of naval stations and fortresses respectively.)

Directive 5 - 21 Nov 41 - To: YAMAMOTO
FROM: NAGANO, Chief of Naval Gen Staff

"The use of armed force under the Great Naval Order (DAI KAI REI) will be restricted to the following occasions:

1. When marine forces invade our territorial waters and carry out scouting.
2. When marine forces approach our territorial waters and take some actions which are dangerous to us.
3. When marine forces take positive actions endangering us, even outside our territorial waters."

(A similar directive is given to KOGA and Chiefs of naval stations and fortresses.)

Directive 17 - 30 Nov 41 - To: Chief of Naval Stations
From: NAGANO, Chief of Naval Gen Staff

"In case of the opening of war with America, England and Netherlands, the disposition of enemy ships and ships belonging to neutral countries will be executed in accordance with the policies stated in the separate volume."

Directive 20 - 1 Dec 41 - To: YAMAMOTO, ~~KOGA~~ and YAMAMOTO at Macao
From: NAGANO, Chief of Naval Gen Staff

"If the American, British or Dutch airplanes make repeated reconnaissance of our important operation bases and transport ships, they may be shot down."

Directive 31 - 19 Dec 41 - To: YAMAMOTO
From: NAGANO, Chief of Naval Gen Staff

"The restriction regarding the area of non-notice sinking in executing the marine transportation destruction operation of the submarine is removed. Also, the restriction regarding the respect for the neutrality of the ship is removed. The same will be applied regarding the destruction operation of airplanes. However, when a ship belongs to the Soviet, it should not be attacked. In Japanese waters off the Soviet coasts and the South American coasts south of Peru, the neutrality of the ships belonging to neutral countries will be respected."

INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

Doc. No. 3177

8 Oct 1947

ANALYSIS OF DOCUMENTARY EVIDENCE

DESCRIPTION OF ATTACHED DOCUMENT

Title and Nature: Bound File of Loose Sheets: Gist of Naval General Directive (TAI KAISHI), Nos 1-35 (Reconstructed)

Date: 1941 Original () Copy (x) Language: Japanese

Has it been translated? Yes () No (x)

LOCATION OF ORIGINAL

DOCUMENT DIVISION

SOURCE OF ORIGINAL: 2nd Demobilization Bureau

PERSONS IMPLICATED: Admiral YAMAMOTO; Admiral NAGANO, Osami; KOGA (Cmdr of Fleet in Chinese Waters) and Chiefs of Naval Stations and Fortresses

CRIMES OR PHASE TO WHICH DOCUMENT APPLICABLE: Class B Offences -- at Sea; Preparations for War -- Naval

SUMMARY OF RELEVANT POINTS

See Defence Document Analyses No. 32 for summary of contents of this document.

Analyst: ET GARDEN

Doc. No. 3177

IPS Doc # 3177-A

Translated by T. Kawai.

Dai Kai Shi / Imperial Headquarters ? Navy Instruction /

No. 31 (~~the gist~~ ^{summary})

Instruction to YAMAMOTO, Commander-in-Chief
of the Combined Fleet

From NAGANO Osami, Chief of Naval
General Staff

on the 19th of December, 1941

1. The limitations ^{as to} of areas where ^{ships} ~~shipping~~ can be sunk without any warning and the limitations ^{as to} of the respecting of the neutrality of shipping, ^{for} ~~when~~ submarines ^{are} ~~carrying~~ out ~~of~~ operations to destroy marine traffic, are removed.

With regard to ^{on} aircraft ^{carrying} ~~carried out~~
 2. The limitations ~~in the execution of~~ ~~an~~ operations

~~by aircraft~~ to destroy marine traffic, is also

applied mutatis mutandis to the preceding ^{to} ~~item~~ ^{applies}.

^{Notwithstanding}
 3. ~~In spite of~~ the preceding items, you must

not attack ships when it is clear that they

are Russian ships. You should also respect

the neutrality of shipping which belongs to neu-

tral countries in general (excepting those coun-

tries designated hostile countries ^{as far} in the treat-

ment of shipping) ^{is concerned} ^{when} in Japanese waters, along

the Russian coast and along the coast

of South America, south of Peru.

Ch. Cole -
Please okay
for typing

~~Wanda agent~~ - here
~~Open~~ - ER

CERTIFICATE OF SOURCE AND AUTHENTICITY

I, DCHI, Kazuo, who occupy the post of Chief of the Historical Section, Material Readjustment Branch, 2nd Demobilization Office, Demobilization Bureau, hereby certify that the document hereto attached, written in Japanese, consisting of 1 page and entitled "Naval General Staff Directive No. 15 (Gist)" is an exact and authorized excerpt from an official document, which is an answer made through the Nakamura-kan to questions put forth to the Former Japanese Navy by the Supreme Headquarters Allied Forces through Col. Manson (Phonetic) of the Supreme Headquarter Allied Forces on November 1945.

Certified at Tokyo,
on this 21 day of June, 1947

DCHI, Kazuo (seal)

I hereby certify that the above signature and seal were affixed hereto in the presence of the Witness.

at the same place,
on this same date

Witness:

SOMIYA, Shinji (seal)

文書ノ出所竝ニ成立ニ關スル證明書

自分、土肥一夫ハ復員廳第二復員局資料整理部史實班長ノ職ニ居ル者ナル
處、茲ニ添附セラレタル日本語ニ依ツテ嘗カレタル一頁ヨリ成ル大海指第
十五號(要旨)ト題スル書類ハ昭和二十年十一月連合國最高司令部「マン
ソン」大佐ヲ通シ連合國最高司令部ヨリ元日本海軍宛ニ發セラレタ質問ニ
對シ中村機關ヲ經テ回答セル文書ノ拔萃ノ正確ニツテ眞實ナル寫ナルコト
ヲ證明スル

昭和二十二年六月二十七日 於 京 土 肥 一 夫

右署名捺印ハ自分ノ面前ニ於テ爲サレタリ

同日 於 同 所

立 會 人 宗 宮 信 次

Ex 3058A

Def DOC NO 1940

大海指第十五號（要旨）

昭和十六年十一月三十日

軍令部總長 永野 修身

山本聯合艦隊司令長官ニ指示

米國、英國及蘭國ト開戦シタル場合ノ海上交通破壊作戦ハ當分ノ間別冊
針ニ準據シ實施スベシ

（終）

FILE COPY
RETURN TO ROOM 361

INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

Doc. No. 3177 ~~2177~~

Date 7 October 1947

ANALYSIS OF DOCUMENTARY EVIDENCE

DESCRIPTION OF ATTACHED DOCUMENT

Title and Nature: *Bound vol of Loose sheets; 1st Naval General Directives, nos. 1-35 (Reconstructed)*

Date: 1941

Original () Copy (X) Language: *Japanese*

Has it been translated? Yes () No (X)
Has it been photostated? Yes () No (X)

LOCATION OF ORIGINAL

~~2nd Demobilization Bureau~~

SOURCE OF ORIGINAL:

~~2nd Demobilization Bureau~~ 2nd Demobilization Bureau

PERSONS IMPLICATED:

Admiral YAMAMOTO; Admiral NAGANO, Osami; KOGA (Comdr. of fleet in Chinese waters) and Chiefs of Naval Stations and Fortresses.

CRIMES OR PHASE TO WHICH DOCUMENT APPLICABLE:

Class B offenses - at sea; Preparations for War - Naval

SUMMARY OF RELEVANT POINTS

See defense document analysis no. 32 for summary of contents of this document.

Analyst:
Evelyn T. Gardner

Doc. No. 3177

INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

~~DEFENSE DOCUMENT ANALYSIS~~

Date 7 October 1947

ANALYSIS NO. 32

DEFENSE DOC. NO. NONE
(Excerpt of doc. p. 8 is Def. Doc. No. 1940)

EX. NO. 3058 (p. 8)
(being IP's 300.40)

ANALYSIS OF DOCUMENTARY EVIDENCE

DESCRIPTION of Document

Title and Nature: ^{side of loose sheet} Bound sheets of Naval General Directives ^(TAI KAI SHI) Nos. 1-35;
~~with~~ (NO title page in file).

Date: 1941

Translation in full?

Language: Japanese
Excerpt? (X)

PERSONS IMPLICATED:

Admiral YAMAMOTO; Admiral NAGANO, Osami; KOGA (Comdr. of Fleet in CHINESE Waters) and Chiefs of Naval Stations and Fortresses.

INCIDENT PHASE OF CRIME TO WHICH DOCUMENT APPLICABLE

Document contains Naval General Directives for latter half of 1941 and includes directives numbered 1 to 35.

Excerpts from document (made IPS Doc. No. 3177 for ^{identification} ~~processing~~ purposes) analyzed include only the most important directives which are summarized below. Directive No. 31 (Excerpt - IPS Doc. No. 3177-A) is ~~the~~ significant in that restrictions regarding ~~the~~ neutrality of ships and areas of non-notice ^{ordered} ~~other~~ ^{directives} ~~concerning~~ ^{naval} actions to be taken in war against AMERICA, ENGLAND, and the NETHERLANDS in the "first ten days of December" as early as beginning of November 1941.

(see attached notes & type material in brackets)
as early as 19 Dec. 1941.

Ref. NO.
~~Ref.~~ #3058

Defense ^{Ref. NO.} 3058
Defense Doc. # 1940
(except)

File of Naval Directives (1941)
(only most important ones excerpted)

Directive 1. - 5 Nov 41 Comdr of the Combined Fleet,
Directive To Admiral YAMAMOTO,
Admiral NAGANO, Chief of the Naval General Staff.

"In preparation against the circumstances which we are driven to open warfare against America, England and Netherlands, in the first ten days of December, advance, at a proper time, the necessary units to the preparation points before the start of operation."

(A similar directive is given to KOGA, Comdr of the fleet in Chinese waters, and to commanders of naval stations and ports respectively.)

Directive 5.

21 Nov 41

TO YAMAMOTO from NAGANO, Osami, Chief of Naval General ^{Staff} Headquarters

- The use of armed force under the Great Naval Order (DAI KAI REI) will be restricted to the following occasions:
- 1) When ~~the~~ marine forces ^{invade} our territorial waters and ^{carry out} ~~make~~ scoutings.
 - 2) When ^{marine forces} they approach our territorial waters and take some actions which are dangerous ^{to} us.
 - 3) ~~Even while outside our territorial waters,~~ ^{When marine forces} they take positive actions endangering us, even outside our territorial waters.

(A similar directive is given to KOGA and Chiefs of Naval Stations and Fortresses.)

Directive 17.

30 Nov 41

To: Chief of Naval Stations From NAGANO, Osami, Chief of Naval General ^{Staff} Headquarters

In case of the opening of war with America, England and Netherlands, the disposition of enemy ships and ships belonging to neutral countries will be executed in accordance with the policies stated in the separate volumes!

Directive 20.

7 Dec 41

To: YAMAMOTO, KOGA and YAMAMOTO
From: NAGANO, Osami, Chief of Navy General Staff at MAKO ^{Naval Base} (in Formosa)

"If the American, British or Dutch
airplanes make repeated reconnaissance
of our important operation bases and
transport ships, they may be shot
down."

Directive 31

19 Dec 41

To: YAMAMOTO

From: NAGANO, Osami, Chief of Navy Gen. Staff

"The restriction regarding the area of non-
notice sinking in executing the marine
transportation destruction operation of
the submarine is removed. Also,
the restriction regarding the respect
for the neutrality of the ship is
removed."

The same will be applied regarding
the destruction operation of airplanes.
However, when a ship belongs to the
Soviet, it should not be attacked.
and in Japanese waters off the

445

II

INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION
Document Division

9 Oct. 1947

To LANGUAGE DIVISION:

Attached is Doc. No. 3177-A for Cole.

Arrange for translation as follows:

Maj. Ashton:

For translation into English: Directive #31 dated
19 Dec. 1941.

barc

(Note: Do not remove from attached material)